



2025年12月25日

各 位

会 社 名 株式会社富士山マガジンサービス
代表者名 代表取締役会長 CEO 西野 伸一郎
(コード：3138 東証グロース 名証メイン)
問合せ先 取締役 CFO 佐藤 鉄平
(TEL. 03-5459-7076)

株式会社 ABEJA と共同事業の創出に向けた検討開始のお知らせ

当社は、2025年12月25日開催の取締役会において、以下のとおり、株式会社 ABEJA（本社：東京都港区、代表取締役 CEO：岡田 陽介、以下「ABEJA」といいます）との間で、共同事業の検討に関する契約を締結することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

今後、両社で出版業界におけるAI利活用を軸とした新規事業の具体的な検討を進めてまいります。

同時に、ABEJA から、当社株主である株式会社 Catalyst・Data・Partners（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：田中 康正）との間で株式譲渡契約を締結し、これにより ABEJA は、当社株式の 9.32%を市場外・相対で取得する旨の報告を受けております。

1. 共同事業の創出に向けた検討開始の理由

当社は、国内外 10,000 誌以上の雑誌を取り扱う日本最大級の雑誌オンライン書店「Fujisan.co.jp」を運営し、定期購読販売を中心に、月間 100 万件以上のサービス利用があります。電子雑誌配信では、国内外 18 の大手電子書店へ雑誌データを提供。雑誌コンテンツを軸に、定期購読者をコアな雑誌ファン＝メンバーシップと位置付け、新しい会員型ビジネスの開発も行っています。雑誌出版社へ向けては、編集・制作プロセス効率化ツールの提供、デジタル活用や収益構造の改善などを支援しています。

ABEJA は、「ゆたかな世界を、実装する」を経営理念に掲げ、ミッションクリティカル業務への AI 導入支援のため、基盤システムとなる ABEJA Platform の開発・導入・運用を行う「デジタルプラットフォーム事業」を開拓しています。ABEJA Platform は、ミッションクリティカル業務における堅牢で安定した基盤システムとアプリケーション群であり、生成 AI をはじめとする最先端技術による運用が人と AI の協調により実現可能です。ABEJA は、2012 年の創業時より ABEJA Platform の研究開発を進めており、ディープラーニング、LLM、量子コンピューティング

などの先駆的な研究開発の成果を順次 ABEJA Platform に搭載し、社会実装に貢献してまいりました。現在、生成 AI の急速な普及に伴い、グローバルで生成 AI に関する著作権の取り扱いに関心が高まっています。EU では「AI Act」により生成 AI における著作権に関するルールが定められ、OECD による広島 AI プロセスの「報告枠組み」でも著作権の取り扱いは重要な報告事項の一つになっています。

また、生成 AI の出力による著作権侵害を巡っては訴訟が相次いでいます。

当社はこのような課題に関して、当社が有する出版・メディア業界における広範なネットワークおよび専門性の高い多くの雑誌データを中心としたコンテンツ資産に対して、生成 AI の技術等を活用することによる問題解決の方法を模索してまいりました。

今回 ABEJA との協議の中で、ABEJA が培ってきた AI 技術および社会実装のノウハウを掛け合わせることで、生成 AI 領域における権利クリアランスの現状を大きく前進させられる取り組みになると想え、また ABEJA も、現在、生成 AI の発展と社会的受容を大きく左右する分岐点にあると考えており、当社と課題意識が共通の方向性であったことから、共同事業の創出に向けた検討を開始する運びとなりました。

これより当社は ABEJA と連携し、出版業界に対する新たな価値創造を目指して検討を進めてまいります。

■ 検討概要

当社は ABEJA と、共同事業化の検討に関して 2026 年中の最終合意を目指し協議を進めてまいります。

専門性が高い各出版社の雑誌に関する情報のデータベース化、またそれを用いたプラットフォーム的な機能やサービスの構築を視野にしており、主な検討内容は以下の通りです。

(1) 小規模言語モデル (SLM) の事業化

権利者との合意に基づき、業界専門誌など高精度かつ信頼性の高いコンテンツデータを活用した小規模言語モデル (SLM、Small Language Model) の構築に関する検証および当該 SLM を用いた事業化に関する検討

(2) AI 学習データ認証の事業化

AI 学習データの公正かつ円滑な流通に向け、出版物に関するコンテンツホルダーと AI 開発事業者などの間におけるコンテンツ使用許諾の認証プロセスの確立、利用状況の整備など仲介業務の事業化に関する検討

2. 共同事業検討の相手先の概要

| (1) 名 称 | 株式会社 ABEJA | | |
|---------------------------|---|--|----------|
| (2) 所 在 地 | 東京都港区三田一丁目1番14号 Bizflex 麻布十番2階 | | |
| (3) 代表者の役職・氏名 | 代表取締役 CEO 岡田 陽介 | | |
| (4) 事 業 内 容 | ミッションクリティカル業務へのAI導入支援のため、基盤システムとなる ABEJA Platform の開発・導入・運用事業 | | |
| (5) 資 本 金 | 895百万円 | | |
| (6) 設 立 年 月 日 | 2012年9月10日 | | |
| (7) 大株主及び持株比率 | SOMPO Light Vortex 株式会社 岡田 陽介 ヒューリック株式会社 株式会社インスパイア・インベストメント 外木 直樹 小間 基裕 BANK JULIUS BAER AND CO. LTD. SINGAPORE CLIENTS (常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行) TBS イノベーション・パートナーズ2号投資事業組合 藤井 衛 杉山 央 | 17.34% 13.09% 4.43% 2.87% 2.52% 1.45% 1.12% 1.06% 1.02% 0.95% | |
| (8) 上場会社と当該会社との間の関係 | 資 本 関 係 人 的 関 係 取 引 関 係 関連当事者への該当状況 | 該当事項はありません。 該当事項はありません。 該当事項はありません。 該当事項はありません。 | |
| (9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態 | | | |
| 決算期 | 2023年8月期 | 2024年8月期 | 2025年8月期 |
| 純 資 産 | 3,480百万円 | 3,898百万円 | 4,471百万円 |
| 総 資 産 | 4,109百万円 | 4,239百万円 | 5,318百万円 |
| 1株当たり純資産 | 404.28円 | 420.49円 | 457.71円 |
| 売 上 高 | 2,775百万円 | 2,766百万円 | 3,585百万円 |
| 営 業 利 益 | 402百万円 | 290百万円 | 445百万円 |
| 経 常 利 益 | 379百万円 | 286百万円 | 451百万円 |
| 当 期 純 利 益 | 421百万円 | 218百万円 | 448百万円 |
| 1株当たり当期純利益 | 53.41円 | 24.30円 | 47.17円 |
| 1株当たり配当金 | -円 | -円 | -円 |

3. 日 程

| | |
|--------------------------|-----------------|
| (1) 取締役会決議日 | 2025年12月25日 |
| (2) 契約締結日 | 2025年12月25日 |
| (3) 共同事業の創出に 向けた検討開始日 | 2025年12月25日（予定） |

4. 今後の見通し

本提携により、2025年12月期の当社業績に与える影響は軽微であります。

以上